

統計研修講義計画書

研修課程	統計専門課程 産業連関表の作成・分析	講義科目	産業連関表（全国表・地域表） の概要	講義時間	2コマ
講師	宮川 幸三 総務省統計研究研修所客員教授・立正大学経済学部教授				

※1コマ70分

講義のねらい

地域産業連関表を作成する上で最も重要な点は、地域の産業構造や交易構造の特性を適切に描き出すことである。しかしながら、予算・人員の制約や推計の基礎となる一次統計の不足から、多くの地域表では全国表の案分による推計や、調査を実施せずに推計を行ういわゆるノンサーベイ手法が採用されており、結果として地域特性をうまく表現できていない表も存在する。そこで本研修では、地域表の意義についてあらためて考えた上で、地域表作成において必ず注意しなければならない点や、実現可能な範囲でできる限り地域特性を描写する方法について講義を行う。

指導項目と内容

指導項目	内 容
地域産業連関表の目的および必要性	何のために地域産業連関表を作成するのか、何の目的で利用するのか、といった点を整理した上で、それらの目的を達成するために地域産業連関表に望まれる性質をあらためて整理する。
地域産業連関表作成時の注意点	実際に公表されている地域表の中にも、産業連関表の一般的な定義や理論的観点から考えれば誤りが含まれているものも存在する。そこで、地域産業連関表作成時に最低限守らなければならないポイントについて解説する。
地域特性を適切に描写するための作成手法について	地域表によって地域の産業構造や交易構造の特性を描き出すために必要な要因について解説する。具体的には、移出入の推計、本社部門（管理補助的活動を行う部門）の推計、観光消費額の推計といった問題に言及する。

講義形態 指導方法	講義
受講に必要な 基礎知識等	産業連関表の見方や波及効果分析の方法についての基礎的な知識を前提として講義を行う。